



金川 社長

タス レン 横河

企業向けPC運用管理に特化のBPOサービス 調達から更新まで ライフサイクル全体支援

横河レンタ・リースは29日、企業向けPCの運用管理に特化したBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスを発売した。同日、東

京都内で会見した金川裕一社長は「レンタルやIT運用での30年間の経験を生かし、最新のPCを最新の管理環境で使えるようにした」と述べた。発売したPC専用BPO「シンプリットマネージャー」は、企業で活用しているPCのライフサイクルに関する業務全般の管理をクラウド基盤を通じて支援する。PCの導

わけて解約や返却ができるだけでなく、資産の棚卸し管理や障害時の代替機の配備なども迅速に

サービス概要

PCライフサイクルに関わる業務プロセス管理基盤として活用



入計画から調達、導入、運用、更新（リプレース）までのライフサイクル管理で必要となる機能をクラウド型のサービスとして提供する。管理者はこのクラウド基盤を使うことで、効率よくPC管理ができるようになる。サービスはレンタル運用ならではの利点をサービスマデルとしてメニュー化。利用者の変動に合

きる。情報システム部門とユーザー部門をつなぐサービスとして、負担なくPCを運用できる。サービスはLCM全般のメニューをクラウド上でそろえる。計画段階ではカタログ機能を用意。PCの標準機を管理者がカタログ化できるもので、利用環境を速やかに構築する。調達に関しては申請手続き機能で対応。申請者のリクエストを承認者が確認すれば、管理者は簡単に機器を手配できる。

導入に際しては棚卸し機能を使い、機器の所在や利用者の情報をリアルタイムで確認。専用ツールなどで最新の資産管理情報を共有できる。導入後の運用ではIT管理台帳で一元管理する。これにより利用

者の情報から機器情報、配備情報などを一括で確認できる。最終的なリプレースの際には利用者には利用メールを自動配信し、

情報部門と利用部門との情報連携を実現。専用のデータ移行ツールなどで速やかに機器を入れ替えられるようになる。価格はスタンダードプランであれば初期費用、月額費用ともに無料。通常のレンタル費用で利用できる。レンタル価格は2-3年サイクルで機器を入れ替えれば、リースよりも低価格で最新の環境を常に利用できる。金川社長は「PCの購入や所有という文化からレンタル、利用という文化に変えていきたい。まずはレンタル利用企業にサービスを使ってもらいたい」と話す。管理者を置きたくない企業に対しては同社が有償で管理業務を請け負う。18年3月期までに500社の採用を目指す計画だ。